


# 広報 ほんべつ

October 2009  
HONBETSU  
Public Relations  
NO. 972

いいひと いいまち いきいき ほんべつ 

2 … 協働で安全・安心のまちづくり  
第22代本別町長 四期目就任のあいさつ

4 … 平成21年度開町記念式典  
開町記念日の9月15日、謝恩祭と開町記念式典が挙行され、本別町功労者4人が表彰されました

6 … 福祉でまちづくり宣言記念事業

8 … 本別きらめきフェスタ2009

10 … 「相田みつを展」が初日を迎えました  
国民年金コーナー

12 … 新型インフルエンザ  
知っておこう

14 … 合併浄化槽のお知らせ

16 … 本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

18 … 第六次本別町総合計画 Part5

ハロー本別高等学校……………19  
マイタウン……………20  
みんなの健康・銀河ホットライン……………22  
ご寄付ありがとうなど……………23  
本のある暮らし・わたしたちのまち……………24



## 熱い踊りで観客を魅了

今回のきらめきタウンフェスティバルが、公式イベント最後の演舞となったほんべつ義経爛漫。3曲の熱い踊りを披露し、観客を魅了しました。演舞後、メンバーの目には光るものが…

# 4期目就任のあいさつ

## 第22代 本別町長 高橋正夫

このたびの町長選挙におきまして、町民の皆さまの信任をいただき、引き続き本町の舵取り役を担わせていただくこととなりました。無投票当選という過分なる栄に浴し、その責任の重大さに以前にも増して身の引き締まる思いで四期



当選証書付与式 (8月31日)

目の町政をスタートしたところであります。

本別町の歴史を顧みるとき、大きな志を胸にこの地に開拓の鍬を入れ、幾多の困難に見舞われながらも決して投げ出すことなく、ひとを育てまちを育て、そして得ら

れた今日の繁栄は、私どもの偉大なる先人の努力の結晶であり、大きな財産であることを忘れることはありません。これら有形無形の財産をさらに磨き上げ、他に誇れる唯一無二のふるさと本別町を建設し、次代に引き継ぐことが私ど

ろに課せられた大きな責任であります。私が平成九年に町長に就任して以来、そのような使命感を抱きつつ「まちづくりはひとづくり」「町民参加による人にやさしい、一万人家族のまちづくり」を基本理念に、町民の皆さまとのふれあいを大切にしながら常に全力投球してまいりました。それらの理念は三期十二年という歳月を重ねるうちに実を結び、やがて大きな力となり、度重なる災害など自然の猛威に対しても、また激動する社会情勢に対しても、町民の皆さまのお力添えをいただきながら一つひとつ乗り越えることができました。あらためまして、これまでの皆さまの力強いご支援、ご協力に厚くお礼を申し上げる次第であります。

四期目の町政執行にあたり、私は、さらなる本別町の躍進を目指し、「協働で安全・安心のまちづくり」という目標を掲げました。社会全体が不透明であり、今後の生活に不安の多いこの時代から抜

け出し、子供から老後まで安全・安心に暮らすことができ、街中には「笑顔」と「安らぎ」と「元気」が溢れる才色豊かな本別町を、町民の皆さまと共に創造することが私の願いであります。行政が主導となつて進めるまちづくりは、もはや幕を閉じようとしています。生涯学習社会の成熟期を迎え、町民の皆さまのまちづくりに対する自発的、積極的な参加意識が高まっている本町において、多種多様な組織・個人の主体的な発想や活動を行政が後方支援するための様々な仕組みづくりが必要です。そのためには、誰にも「公平・誠実」に対応し、高い「透明性」を確保し、対話の町政を推進するため「情報発信」と「職員の能力向上」に努めることが近道であると考え

大きな変革のうねりの中、町政を担わせていただく責任の大きさを肝に銘じ、町民の皆さまが理想とする「まち」、本別町を築くという負託に応えるため、志を新たにしていくところであります。私



町民や役場職員に拍手で出迎えられる初登庁 (9月1日)

ます。その時々々の政治、経済、社会情勢に適切に対応した柔軟な行政の体制を確立し、多様化する住民ニーズに即応できるよう、常に目を配り、耳を傾け、必要な施策を推進していく所存であります。

の力の及ぶ限り、全エネルギーを傾注してその任にあたる決意でありますので、これまでと同様のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。四期目就任にあたってのご挨拶といたします。

# 協働で安全・ 安心のまちづくり

# 平成二十一年度開町記念式典

## 受賞者の皆さん (50音順)



**伊木豊次さん**  
勇足元町4番地9

昭和47年本別消防団第2分団入団以来、平成18年に退団されるまで34年の長きにわたり、常に冷静沈着な決断にして自ら率先範を示し、精励恪勤地域の火災および治安の維持に貢献された。

この間、班長、部長、副分団長、分団長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、消防団の円滑な運営に昼夜を惜しまず努力し、団の組織強化発展に尽くされた功績により、北海道知事表彰、北海道消防協会会長表彰などを受賞された。

これらの火災防衛活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



**青木一夫さん**  
南2丁目14番地20

昭和60年町文化財審査委員会委員に委嘱され、委員長として長年務められ、今日までの24年の長きにわたり本町の遺跡や天然記念物などの文化財産の保全・保護に尽力され、町文化財審査委員会の進展に大きく寄与されている。

また、本別地区保護司会会長、本別地区交通安全協会事務局長、民生委員推薦会委員をはじめ、幅広く数多くの公職を歴任され、法務大臣表彰、交通栄誉章「緑十字銀章」などを受賞され、人づくり町づくりを含め本町の文化振興に寄与した功績から平成20年に本別町文化賞が贈られている。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



**高橋利勝さん**  
向陽町68番地2

平成2年、本別町議会議員に初当選以来、現在5期目を迎え高邁な政治信念を持って活躍されている。

町議会においては文教民生常任委員会委員長を歴任され、平成14年には推されて町議会副議長に就任し、議長の補佐役を務められ、まちづくりの推進に大きく貢献されている。

また、本別地区保護司会保護司、町総合計画策定審議会委員、町都市計画審議会委員など多くの公職を務められ、本別サイエンスクラブ会長、ボランティアセンター会議副会長、歴史民俗資料館友の会事務局長を務められるなど町政の各般にわたり幅広く活躍いただいている。

これら献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



**小林信雄さん**  
北2丁目3番地4

昭和59年から現在までの通算20年以上の長きにわたり、本別町商工会理事・監事として、商工会の基盤確立、拡充強化に努め、組織の発展に寄与され、地域経済と商工の振興に努められている。これらの功績により、北海道商工会連合会会長表彰、全国商工会連合会会長表彰を受賞された。

また、昭和58年から本別町交通安全指導員に委嘱されて以来、現在までの26年の長きにわたり、交通指導に率先して参加され、これらの功績により北海道善行賞を受賞されている。

さらに、主任児童委員、民生委員児童委員、本別町少年補導委員、家事・民事調停委員、本別町選挙管理委員会委員など数多くの公職を務められ、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



式辞を述べる高橋正夫町長



高橋正夫町長(左)から賞状と記念品を授与される功労者



受賞者を代表して謝辞を述べる小林信雄さん

本別町開町記念日の九月十五日、山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が、町体育館で平成二十一年度「開町記念式典」が執り行われました。

式典には関係者約八十人が出席し、町民憲章の朗唱、黙とうに続いて高橋正夫町長が「まちづくりは大きな変革の時代を迎えています。今こそ先人より受け継いだ不屈の開拓精神をいかんなく発揮し『協働』の言葉を胸に力を合わせ『人にやさしいまちづくり』に向かって、本町が心豊かで活力に満ちあふれた、町民一人ひとりが誇りの持てる町として発展するよう、たゆまぬ努力をします。町政の各般にわたり従来にまさる一層のご協力をお願いします」と式辞を述べ、長年にわたり町発展のために尽力された四人の功労者を表彰しました。

笠原求町議会議長が祝辞を贈り、受賞者を代表して小林信雄さんが「受賞は身に余る光栄。支えてくれた先輩や周囲の人たちのおかげ。今日の感激を胸に、町発展のためより一層努力してまいります」と謝辞を述べました。

## 開拓功労者謝恩祭



九月十五日午前九時三十分から山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が開かれ、開拓功労者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が献花を捧げました。

### 開拓功労者八翁

- |     |     |    |    |     |    |     |
|-----|-----|----|----|-----|----|-----|
| 前田  | 荒井  | 岡出 | 幕内 | 新津  | 鈴木 | 東條  |
| 金四郎 | 深四郎 | 英作 | 公一 | 小太郎 | 繁松 | 勝太郎 |
| 翁   | 翁   | 翁  | 翁  | 翁   | 翁  | 翁   |

# 「福祉でまちづくり」 宣言記念事業

九月七日「福祉でまちづくり」宣言記念事業が開催されました。第一部は、本別中学校の総合学習介護福祉コースの生徒と本別町老人クラブ連合会会員との聴き書きイベントが本別中学校体育館で行われ、第二部は、NPO「昭和の記憶」代表理事・事務局長の瀧澤尚子さんによる講演や、第一部の聴き書きイベントに参加した中学生や老人クラブ連合会会員の皆さんによる報告が行われました。会場に訪れた約二五〇人はコミュニケーションの楽しさや大切さを学びました。

## 聴き書き イベント

本別中学校総合学習介護福祉コースの生徒三十七人と本別町老人クラブ連合会の会員三十四人が本別中学校体育館で聴き書きイベントを行いました。最初は一対一で向き合うのが恥ずかしく、まずは簡単なゲームでお互いがリラックス。それぞれヒントの絵葉書を使いながら昭和の遊びや食事などの話に盛り上がり、あつという間に時間が流れ、最後はパートナー同士握手をし、和やかな雰囲気での終わりました。



## 絆——家族のぎずな・地域のキズナ



### 《聴き書きを始めたきっかけ》

おばあちゃんと同居していた瀧澤さん。老化は自然の摂理ではあるが、いつも元気だったおばあちゃんの衰えと死に直面したことに、自分の父母の死を考えるようになり、介護の実態を知りたくてホームヘルパーの資格を取得されました。その後、ヘルパーの仕事で出会った多くの高齢者の中には、元気がなく、無表情で、話せない人もいたことから、「高齢者が元気を取り戻すにはどうしたらよいのか？」と考え、聴くこと話すことで元気を取り戻してもらおうと考えました。

『敬老の日は家族みんなが集まって、おじいちゃん、おばあちゃんの話をお聞き』と聴き書きを推進されています。

聴き書きは誰でも簡単にできることです。高齢者は、たわいもない会話から自分の昔話や経験談を思い出し、聴いてもらうことにより誰かに話したいという欲求が満たされ、充実した感覚を覚えます。また、聴き手の若者たちも、自分がどれだけ恵まれた環境に生まれ育ち、自由な暮らしをしているのか考え、戦後の辛い時代を生き抜いてきた高齢者への尊敬の念が高まっています。

これにより互いに絆が生まれ、より良い世代間交流が行われるのです。



### 《聴き書きイベント報告》

第一部の聴き書きイベントに参加した人を代表して本別町老人クラブ連合会の会員が五人、中学生が五人の十人が講演会の中で、聴き書きの感想を報告しました。

高齢者の皆さんからは、「孫やひ孫に近くとつてもかわいい」「こがった気持ちも、会話をすることでまあるくなった」「手を握りいつまでも長生きして元気であってくださいと言われ、うれしかった」などの感想が述べられ、子供たちからは、「昔の食事や、遊びを聴き、今の生活との違いに気づいた」「ゲームばかりではなく、自分も遊びを作ってみよう」「いろんな事を教えてもらって。また参加したい」など、イベントに参加した感想を語ってくれました。

参加者の報告に瀧澤さんは、「このイベントを通じて、参加した皆さんは大変貴重な財産を手に入れました。若い人は話すだけで周りを笑顔に包みみんなを元気にする力を持っています。これからもお互いが歩みよれたらいいですね」と講評をしました。

## ほんごの 名言集



この記念事業に先駆けて本別町内の介護サービス事業者の利用者と職員の協力を得て聴き書きを行いました。楽しい思い出や、辛い思い出など皆さんの思いが詰まった言葉の中からそれぞれ一番印象に残った言葉を選び、一人ひとりの名言として会場内に掲示されました。味わい深い名言やエピソードに多くの来場者が足を止め、見入っていました。



# 本別きらめきタウン フェスティバル2009



東十勝花火大会  
匠の技 秋の夜空に咲く

本別最大のイベント第13回本別きらめきタウンフェスティバル（実行委員会主催）が9月5日、6日の2日間、利別川河川敷地特設会場で開催され、うまいもの市や友好都市小松島市物産市などで賑わいをみせました。

初日には、今年十勝管内最後となる東十勝花火大会で4,000発の花火が初秋の夜空を彩り、2日目には、お笑いショーや歌謡ショーで来場者を盛り上げるなど多彩な催し物を展開。

今年は新型インフルエンザの影響もあり、昨年よりも若干来場者が減ったものの、町内外から親子連れなど約31,000人が会場を訪れ、観て・食べて・飲んで、過ぎ行く秋のひと時を楽しみました。

**うまいもの市・友好都市小松島市物産市**  
①多くの業者が出展したうまいもの市  
②友好都市小松島市物産市のアユの塩焼き  
③浅草「仲見世」若大将飯田隆夫さんによる炭火焼餅の実演。焼きたての煎餅が無料配られました



**馬とのふれあい広場**  
④迫力満点のリッキーマウスタンプの乗馬体験  
⑤野田仁実行委員会会長が「たくさんのイベント」を用意しているの、食べて、飲んで、二日間楽しんでください」とあいさつ



**熱気球体験試乗**  
⑦上空からイベント会場を一望  
⑧子供たちの一番人気！ふわふわの「ブルーレイド」球体落下ゲーム  
⑨景品の「ブルーレイド」VDプレーヤー獲得を目指し、多くの人が挑戦



**郷土芸能**  
⑩本別小唄に合わせた輪踊り  
⑪義経太鼓保存会による勇壮な太鼓の演奏  
⑫駒踊り保存会による踊りの披露  
⑬ほんべつ義経爛漫公式イベント「お笑いショー」  
⑭会場を爆笑の渦に巻き込んだ「くまたまさし」(写真上)「しろつぶ」(写真下)



**歌謡ショー**  
⑮「香西かおり」が甘い歌声で観客を魅了  
⑯フォークソングを熱唱した「みのや雅彦」  
⑰「香西かおり」・「みのや雅彦」によるライブコラボ  
⑱歌謡ショーを一目見ようと訪れた大勢の観客



**ご存知ですか？**  
心ない人により会場に捨てられたごみは、実行委員や出店者などの手により片付けられているのを。来年度は100%持ち帰りにご協力をお願いします。



関係者によるテープカット

## オープニングセレモニー

9月16日午前10時から中央公民館2階のホールでオープンを記念したセレモニーが行われました。高橋正夫町長が「相田みつをの作品に込められた想いを共有し、一生感動の作品展にしてほしい。来館した皆さんが明るく元気になってほしい」とあいさつ。続いて、本別町芸術文化事業振興会の棚原秀樹会長と相田みつを美術館の相田一人館長のあいさつの後、関係者によるテープカットでオープンを祝いました。

## ギャラリートーク

オープニングセレモニー終了後、相田一人館長による展示作品の見どころについての解説がされました。

相田館長は、「めぐりあい」という作品を最初にもってきた理由について「本別町との出会いを大切にしたい」からと説明したほか、戦争で亡くした二人の兄への想いを綴った「ひぐらしの声」が相田みつをの原点であるなどと身内の目から見た解説を行いました。



展示作品の解説をする相田一人館長

「相田みつを展」をPRする横断幕が九月十四日、南四丁目の国道二四二号線沿いに設置されました。この横断幕は、国道二七四号浦幌町情報管路工事を請け負う株式会社野田組（野田仁社長）が現場事務所を本別町に設置したことから、地域貢献活動の一環として掲示したもので、期間中、道行く町内外のドライバーなどに「相田みつを展」をPRします。

## 「相田みつを展」PR横断幕が設置されました



心に響く書との出会い「相田みつを展」が九月十六日、大勢の鑑賞客が見守るなか中央公民館大ホールでオープン初日を迎えました。この展覧会では、相田みつをの初期作品から晩年の絶筆まで、初公開作品を含む七十五点のほか愛用していた筆・墨などが展示されています。普段考えない、あたりまえのことを分かりやすく書にした作品は、誰もが共感し感動できるものです。十月四日まで毎日開催されていますので、是非ご覧ください。

## 誰もが共感し感動できる「相田みつを展」が初日を迎えました



オープン初日に訪れた大勢の鑑賞客

## 相田みつを 子どもへのまなざし 相田一人講演会

相田みつをさんの長男で、相田みつを美術館の館長を務める、相田一人さんを招いた講演会が9月15日、町体育館中競技室で開催されました。会場に集った約200人は、相田一人さんの語る言葉から相田みつをさんの生涯に触れました。



講演では、息子からみた相田みつをを像やその数奇な人生、作品に込められた想いなどが語られ、特に覚えてもらいたい詩として「うつくしいもの」という詩について触れ「子供が小さいうちに、美しいものに素直に感動する心を育ててほしい。そのためには、まず親が感動することが大切である。親の感動は子供に必ず伝わるもの」と詩に込められた想いを伝えながら、子供の育み方や親子の関係についても話しました。



相田一人館長

詳しくは  
住民課戸籍年金担当へ  
☎22-8128(課直通)

帯広社会保険事務所  
☎0155-2518113  
☎0570-051165  
ねんきんダイヤル

免除が認められた場合の保険料納付額(月額)と年金額への反映割合

免除区分	納付額	年金額への反映割合	
		平成21年3月まで	平成21年4月以降
全額免除	なし	1/3 ⇒	1/2
3/4免除(1/4納付)	3,670円	1/2 ⇒	5/8
半額免除(1/2納付)	7,330円	2/3 ⇒	3/4
1/4免除(3/4納付)	11,000円	5/6 ⇒	7/8

※今回の国庫負担割合の増加により、保険料免除期間の将来受け取る年金額が増額されました

**国民年金保険料免除制度**  
経済的な理由などで国民年金の保険料を納めることが困難な場合に、申請をし、認められれば保険料の全額または一部納付が免除される制度。

国民年金事業を運営する費用は、20歳から60歳までの加入者が納めている保険料と国の負担(国庫負担)で賄われています。日本人の平均寿命は、医療技術の進歩等により今後もさらに延びることが予想されますが、少子化により保険料を納める現役世代は減少しています。長期的に年金の納付と給付のバランスをとるため、今年度から基礎年金への国庫負担割合が3分の1から2分の1に引き上げられました。これに伴い、国民年金保険料免除制度を受けられている人の、年金額への反映割合も変更になりました。

年金事業の  
長期的・安定的  
運営のために  
基礎年金の国庫負担割合が  
2分の1に増えました!

国民年金  
コトナ  
その90

## 町内でも感染が確認されました

八月下旬から本別町でも新型インフルエンザの感染が確認され、小中学校の学級閉鎖や学校閉鎖が相次ぎました。今後は季節性インフルエンザとともに、さらに感染が広がると考えられますので、一人ひとりの感染予防対策が一層重要になります。

### Q&A

#### 新型インフルエンザ

#### Question 1 | インフルエンザウイルスの潜伏期間は？

潜伏期間は季節性インフルエンザが2～5日に対し、新型インフルエンザは1～7日と幅があるようです。インフルエンザ（季節性・新型）を発症した場合、一般的には発熱し3日程度で熱は下がりますが、感染力は2、3日残っています。完全に回復するまでには7日間程度かかりますので、この間は自宅での療養が必要です。

#### Question 2 | 物に付着したインフルエンザウイルスの生存期間は？

床や壁など栄養分のないところではウイルスは24時間程度で死滅するとされています。家庭なら1日1回、ぞうきんで机やドアノブ、スイッチ、手すりなど手で触れるところを丁寧に拭き掃除すればよいでしょう。

#### Question 3 | 消毒剤は必要ですか？

外出時や帰宅後の手洗いについては普通の石鹸で十分ですが、普段より丁寧に（15秒以上）洗ってください。また、感染した人の着衣や寝具などは通常の洗剤による洗濯で構いません。

#### Question 4 | 医療機関受診時の留意点

町国保病院では一般の患者さんへの感染拡大を防ぐために、インフルエンザ（季節性・新型）の疑いのある人は「午前11時から午後4時から」に時間を設定して診察をしています。なお、受診前には必ず病院に電話をして、マスクを着用して受診してください（他の病院を受診する場合も同様です）。

#### Question 5 | 新型インフルエンザの判定と治療

インフルエンザA型（新型）の簡易検査は、発症の時期や個人差により陽性反応が出ない場合もあります。判定が陰性であっても、現在の国の方針は「ほとんどの人を新型インフルエンザと判断する」ことになっていますので、陰性でも新型インフルエンザとみなして治療・投薬を行っています（発症時期や病状によって治療内容が違う場合もあります）。

#### Question 6 | インフルエンザ脳症について

インフルエンザ脳症は、インフルエンザウイルス感染による合併症で、発症後の急速な症状の進行と予後の不良を特徴とします。通常は乳幼児が主体とされていますが、新型インフルエンザでは、10歳前後や10代半ばのお子さんの発症が確認されています。以下の症状があれば、速やかに医療機関を受診してください。

- 呼び掛けに答えないなど意識レベルの低下が見られる
- 持続したけいれんの発作を繰り返して、30分以上意識が回復しない
- 意味不明の言動が見られる

#### Question 7 | インフルエンザの予防接種は？

**季節性インフルエンザ**  
これまでも行っていた季節性インフルエンザの予防接種については、ほぼ昨年同様に進めていく予定ですが、予防ワクチンの供給状況が不明のため、全員の希望に沿えない場合もあります。健康管理センターでは定期接種の対象である65歳以上の人に別途通知をするほか、町国保病院での日程等はくらしの情報紙「かけはし」10月1日号をご覧ください。

**新型インフルエンザ**  
新型インフルエンザ予防接種についてはまだ詳細は決まっていませんので、決まり次第広報等でお知らせします。



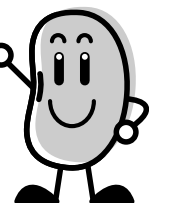
町民の皆さん一人ひとりができる、手洗いやうがい、マスクの着用などの感染予防対策を行うことで、感染の急速な拡大や、大規模かつ一斉の流行を避けることができます。



詳しい情報は本別町公式ホームページをご覧ください  
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp> お知らせー新型インフルエンザ  
インフルエンザに関するお問い合わせは健康管理センターへ ☎22-2219

# 農村部および勇足元町・仙 美里元町・上本別地区で

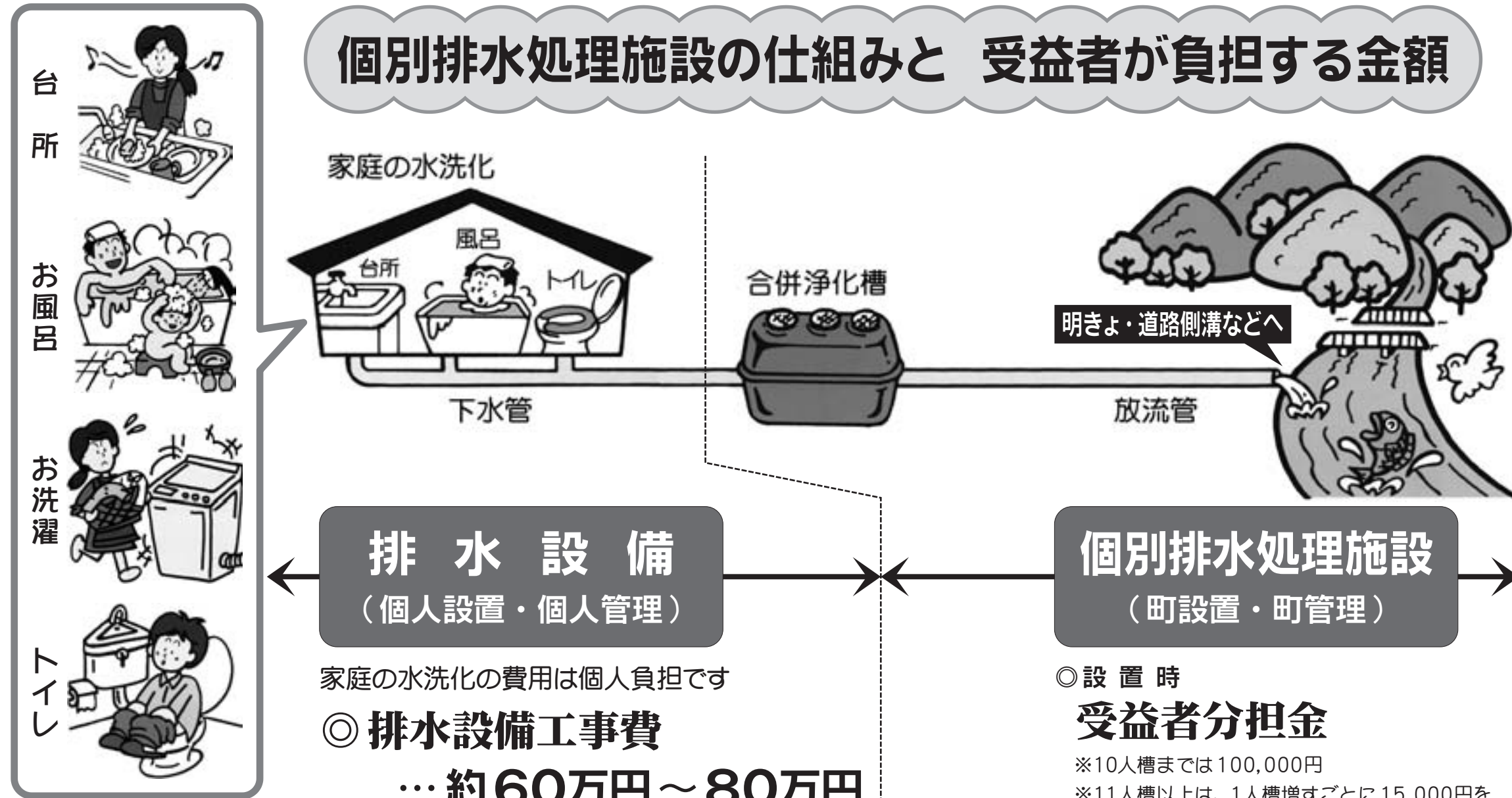
# 合併浄化槽が設置しきりもあ



平成十一年度から農村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成十七年度から農村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できるようになりました。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにごりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これによりすべての町民（公共下水道区域の未整備区域を除く）がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。

**平成22年度に設置を希望する人は、平成21年10月末日までにお申し込みください**

## 個別排水処理施設の仕組みと 受益者が負担する金額



### 排水設備 (個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です

◎ 排水設備工事費  
…約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

排水設備工事の融資制度  
(住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



### 個別排水処理施設 (町設置・町管理)

◎ 設置時  
受益者分担金

- ※10人槽までは100,000円
- ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります  
(翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎ 設置後

● 使用料(毎月)

浄化槽の 汲み取り・点検は 町で行います
5人槽…3,095円
7人槽…3,872円
10人槽…5,020円
11人槽以上…10人槽の料金に1人槽増すごとに420円を加算した額

● 電気料(毎月)……約800円～1,800円

(5人槽～10人槽の場合)

浄化槽内のばっ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

台所



お風呂



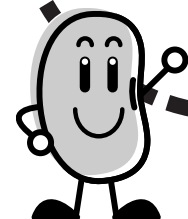
お洗濯



トイレ



お申し込み  
お問い合わせは  
建設水道課  
水道・下水道担当  
☎22-8122





◆職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額(平成20年度)	1,486千円		-	
平成20年度支給割合	3.0月分 (1.6)月分	1.50月分 (0.75)月分	3.0月分 (1.6)月分	1.50月分 (0.75)月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・本町は未支給		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5~20% ・管理職加算10~25%	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当

(平成21年4月1日現在)

支給率	本別町		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2%~20%)		定年前早期退職特例措置(2%~20%)	
1人当たり平均支給額	19,142千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額である。

③ その他の手当(普通会計)

(平成21年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(平成20年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成20年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 扶養親族たる子および父母等1人につき 6,500円 職員に配偶者がいない場合1人 11,000円 扶養親族たる子15歳から22歳まで 5,000円加算	同じ		19,253千円	211,571円
住居手当	[借家] 月額16,000円以下の家賃⇒家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃⇒(家賃の月額-16,000円)の2分の1(2分の1限度額9,500円)に10,500円に加算 [持家] 月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	[借家] 借家限度額 27,000円 [持家] 新築5年間 2,500円	18,803千円	170,936円
通勤手当	[交通機関利用] 月額限度額 50,000円 [交通用具利用] 片道5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 4,100円 10km以上~15km未満 6,500円 15km以上~20km未満 8,900円 20km以上 11,300円	異なる	[交通機関利用] 55,000円 [交通用具利用] 20km以上60kmまで5km刻みで支給額を設定	1,908千円	47,700円
管理職手当	12% 院長、副院長、医長 9% 主幹 10% 課長、室長、事務局長 8% 課長補佐、次長	異なる	課長 職定額 課長補佐 職定額	10,938千円	420,692円
夜勤手当	25%増し	同じ		140千円	46,667円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,277千円	116,091円
寒冷地手当	[世帯主] 扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 [その他の職員] 51,700円	同じ		14,120千円	101,583円

◆特別職等の報酬等の状況

(平成21年4月1日現在)

区分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合
給料	町長	747,000円
	副町長	616,000円
	教育長	562,000円
報酬	議長	292,000円
	副議長	230,000円
	議員	185,000円

6月 2.1月分  
12月 2.3月分 合計4.4月分  
加算措置：当分の間支給停止

職員の給与等に関するお問い合わせ先  
総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、  
透明性の確保などを目的に給与等の  
状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度が  
どのようになっているかを公表することが  
地方公務員法で義務付けられています。  
町民の皆様に町職員の給与などの  
概要をお知らせいたします。

◆職員の平均給料月額、平均年齢の状況

一般行政職(平成21年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職		
大学卒	334,900円	43.0歳
短大卒	338,800円	44.4歳
高校卒	353,900円	45.8歳
中学卒	336,700円	46.3歳
全平均	346,200円	44.8歳

(注) 「平均給料月額」とは、平成21年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

◆一般行政職の職級別職員数

(平成21年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成20年4月1日現在)	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補	3人	2.8%	3人	2.8%
2級	主事、技師	7人	6.4%	8人	7.4%
3級	主査、副主査、主任	40人	36.7%	40人	37.0%
4級	主査、副主査	31人	28.4%	30人	27.8%
5級	課長、室長、課長補佐	16人	14.7%	15人	13.9%
6級	課長、室長	12人	11.0%	12人	11.1%
合計		109人	100.0%	108人	100.0%

(注) 1 本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。  
3 平成19年度から6級制に移行。

◆職員の初任給の状況

(平成21年4月1日現在)

区分	本別町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円	172,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円	140,100円	148,500円

◆職員の給与の状況

人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口(平成20年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率B/A	(参考)平成19年度の人件費率
20年度	8,510人	6,702,855千円	73,877千円	1,336,643千円	19.9%	19.7%

# HELLO 本別高等学校

# 燃えた! 観客を魅了! 伝統の第67回本高祭



一日目に行われた「仮装」。開始二時間前から大雨が降り始めたが、開始時には嘘のように止んでいた。全クラスのパフォーマンズが終わると、また雨が降りだすという「神様も見ていたのでは」という今回でした。



二日目の「芸能」では、多くのクラスが「演劇」に取り組みました。三年B組が優勝しました。一年B組の活躍が目立ちました。最後まで聴衆を引きつけるシナリオと演技力は、見事なものでした。



今年から新たに、合唱コンクールが加わりました。どのクラスもなかなかの力で、優勝した三年B組は、四部合唱の「あの空へ青のジャンプ」という、難易度の高い選曲をしました。男子は裏声を使い、女子ソプラノは、喉を痛めるほどのものでした。苦勞の甲斐あり、伝統ある本高祭の歴史を変える素晴らしい歌声でした。



北海道本別高等学校  
TEL: 0156-22-2052 / 2068  
ホームページ: <http://www.honbetsu.hokkaido-c.ed.jp>  
e-mail: [honbetsu@hokkaido-c.ed.jp](mailto:honbetsu@hokkaido-c.ed.jp)



校訓  
創意実践

## 策定委員がまとめた本別町の現状

### 強み

- ・日照量は十勝でもトップクラスで、良質な気候と風土を持つ
- ・畑作と酪農が調和した農業が基幹産業
- ・町民のボランティア精神で、福祉活動が実現している

### 弱み

- ・若い世代の就業の場の少なさから、定住できない
- ・新しい目標に向かって進む団結力が乏しい
- ・町民への情報発信が不足している

### 機会

- ・高速道路が開通すると人、物の流れが変わる
- ・高品質の農作物を活用した加工産業の育成
- ・「福祉でまちづくり」宣言による住みたくくなるようなまちづくり

### 脅威

- ・魅力あるまちづくりへの町民の意欲が低下している
- ・高速道路の開通に伴い、物流の利便性はあがるが、同時に人も流出してしまう
- ・過疎、少子高齢化、人口減少から若い人がまちに残らず寂れていく

**具体的な作業に着手した策定審議会**  
第六次本別町総合計画を策定する町総合計画策定審議会（今野公明会長）の三回目の会議が九月十一日、役場三階会議室で開催されました。北海学園大学法学部の佐藤克廣教授をコーディネーターに招き、出席した委員を三グループに分け、SWOT分析（広報ほんべつ九月号シリーズ総合計画参照）により本別町の現状を把握。「強み」「弱み」「機会」「脅威」の四点について委員の意見をまとめました。今後は、確認された本別町の特徴を踏まえ、計画策定に繋げていきます。

# シリーズ 第六次本別町 総合計画 Part5



**SWOT分析から見た今後の方向性**  
気候が良いことによるバランスのとれた農業が発展している一方、若い世代の就業のチャンスが無くなっている。打破するための機会として高速道路を利用した産業を興すことが重要だが、人口の流出も懸念されることから、本別町に住みたいと思わせる魅力を作り出していかなければいけません。

しかし、情報発信の弱さもあり、新しい目標に向かっていく力や、魅力あるまちづくりへの意識が低下している側面も見られます。これまで築いてきた町民力を生かし、本別の良いところを町内外へアピールしていく必要があります。

本別町には農業という高い強みがあります。しかし、まちの人は良いものが近くにありすぎて見過ごしているのではないのでしょうか。農業は新しい魅力を引き出すチャンス。わがまち本別に、そんな魅力がまだあるはず。

この審議会で確認された事項は、これからの議論により、強みが弱みになったり、脅威がチャンスになるなど変化するものです。審議会では皆さんの意見も取り入れながら、本別町の未来に向けて一番良いと思われる幹を作り、その幹に枝葉を付けていきます。



総合計画についての問い合わせ  
企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎22-8121 (課直通)

## 仙美里小学校のグラウンドと非常階段がきれいになりました

仙美里地区で別川改修工事を請け負う西岡建設株式会社（藤原則昭社長）が8月25日から27日と29日の4日間、仙美里小学校（佐々木修一校長）グラウンドの雨水対策工事と校舎北側非常階段の改修工事を行いました。この工事は、地域貢献活動の一環として学校の要望を聞きボランティアで実施されたもので、作業員はバックネット裏の排水路設置と芝生の張り付け、非常階段の錆び落としとペンキ塗りに汗を流しました。



## 昼食サロンで楽しいひととき

銀河サロンが8月27日中央公民館を会場に昼食サロンを開催しました。勇足小規模多機能型居宅介護事業所の利用者11人を招き、ミックスフライやサラダなどボリューム満点の昼食をみんなで囲み、食後には野点も披露。約50人の参加者は楽しいひとときを過ごしました。また、この日は浦幌町から障がい者ボランティアの皆さん10人が視察研修に訪れました。



## おいしいおやつができました!

家庭支援・教育事業「なかよし」による「簡単おやつ作り」が8月28日、健康管理センターで開催されました。参加した14人は甘い匂いに包まれながら、フルーツ白玉やチーズ蒸しパンなど4種類のおやつを手際よく作っていました。



## 故 平 芳一さんに叙勲

故平芳一さん（元町議会議員）が旭日単光章を受賞し9月9日、高橋正夫町長らが柏木町の平さん宅を訪れ、ヒサ子夫人に勲記と勲章が伝達されました。平さんは、平成2年8月に本別町議会議員に当選して以来、3期12年にわたり在職され本別町議会総務常任委員会副委員長、同文教民生常任委員会委員長などを歴任し、地方自治の振興に大きく貢献されるとともに、本別町保健衛生組合組合長、本別町観光協会副会長、本別町社会福祉協議会理事として生活環境向上、観光産業振興、地域福祉増進にも尽力されました。



## 仙美里中学校生徒会がごみ拾い

仙美里中学校（太田昭弘校長、27人）が9月9日、生徒会活動の一環として仙美里元町周辺のごみ拾いを実施しました。生徒会長の一森響さん（3年）が「一つでも多くのゴミを拾い地域をきれいにしましょう」とあいさつした後、生徒たちは国道242号線沿い、元町周辺、校内など5班に分かれ、草むらをかき分けるなど小さなごみも見逃さず丁寧にゴミを拾っていました。



## 日ごろの練習の成果を披露しました

第4回高齢者の楽しい集いが9月10日、中央公民館で開催されました。老人クラブ連合会鎌田一平会長が「親睦を深め、健康に留意し私たちがまちづくりをがんばりましょう」とあいさつ。35組の出演者は、民謡や舞踊、カラオケなど日ごろの練習の成果を披露し、訪れた観客250人から大きな声援や拍手が送られました。



## サイクリングで楽しい一日

第35回子どもサイクリングの集い（本別町地域子ども会育成連絡協議会主催）が9月12日に開催され、中央公民館から美里別地区公民館までの約30kmを自転車で往復しました。参加した小学1年生から中学3年生までの子供と一般の参加者など36人は、元気に秋風を切りながら快走し、昼食は美里別地区公民館で焼肉を食べるなど楽しい一日を過ごしました。



## 美しい音色

本別高等学校吹奏楽部（矢ノ目知恵顧問、部員21人）の第26回定期演奏会が9月13日、中央公民館で開催されました。演奏会は3部構成で行われ、2年連続全道大会出場権を獲得した、北海道吹奏楽コンクール帯広地区大会の金賞受賞曲「元禄」など全12曲を演奏。会場を訪れた家族や友人など約140人は、美しい音色の演奏に温かく大きな拍手を送っていました。



## 一条正彦院長がへき地医療貢献者表彰受賞

町国保病院一条正彦院長のへき地医療貢献者表彰受賞の伝達式が9月17日役場で行われ、高橋正夫町長から表彰状が手渡されました。へき地等の地域医療確保に献身的に尽されている功労者に贈られるこの賞は、



一条院長が平成3年4月に町国保病院へ外科医として着任してからの17年間、本別町の医療を支えてきたことが認められたものです。

## 本別高等学校交通安全強歩大会

本別高等学校（三品純一校長、227人）の交通安全強歩大会が9月17日行われ、生徒たちは午前9時に高校前を元気よく飛び出しました。男子は42.195km、女子は30kmのコースを、交通安全標語の入ったゼッケンを背中に付け、ドライバーや沿道の人に交通安全を訴えながらそれぞれのペースでゴールを目指しました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121 (課直通)

# 本別中学校陸上部全道大会出場報告 9/17

本別中学校陸上部2年の三品正武さん、伊東みちさん、黒田みさとさん、菅原梓さん、藤本優羽さん、同部1年の長屋憲汰さん、荒麻菜絵さん、中塚沙希さん、西岡育実さんが9月17日、教育委員会を訪れ9月19日、20日に釧路市で開催される第16回北海道中学校陸上競技大会出場を報告をしました。今年度の各種大会で標準記録突破、十勝陸上競技協会長の推薦により100㍍、3000㍍、400㍍リレーなど7種目に出場する選手9人は「夢の決勝へ進みたい、コンディションを万全にして自己ベストを目指したい、みんなでバトンをつなげたい」などと力強く決意を述べ、澤田満教育長は「1、2年生で臨む初の大会なので、終わってからしっかりできたと感じられる大会にしてほしい。思い出に残る大会になるよう頑張ってください」と激励しました。全道大会ではそれぞれの種目でベストを尽くし健闘しました。



# 元気いっぱいのおプレー 9/19

第11回選抜少年野球本別大会（十勝毎日新聞社本別支局・本別野球少年団育成会主催）が9月19日、南球場と弥生球場を会場に本別、足寄、士幌、上士幌、中札内の5町村8チームの参加で開催されました。試合はトーナメント方式で行なわれ、駆け付けた父母らの声援の受けた選手たちは、全力で「打って・走って・守る」元気いっぱいのプレーを展開していました。成績は次の通り。

- 優勝 足寄スラッカーズ
- 準優勝 士幌ファイターズ
- 第3位 中札内パワーズ
- 第4位 本別レッズ



# ご寄付ありがとうございます

平成21年8月4日から9月7日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町指定  
害虫駆除用殺虫剤 30本 …… 帯広市  
川田工業株式会社 代表取締役社長 川田 章博  
※一般国道242号本別町共栄交差点改良工事事業者
- ★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定  
金100,000円 …… 美里別西上 内田 直子
- ★本別町老人ホーム指定  
タオル 40本 …… 本別町赤十字奉仕団 委員長 藪谷 洋子  
タオル 30本 …… 十勝明るい社会づくり本別地区  
代表 城浦 省二  
トウモロコシ 100本 …… 勇足東3 河合 宏

- ★本別町体育館指定  
展示用ショーケース  
…………… 中前建設株式会社 代表取締役 中前 孝二
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★福祉でまちづくり推進事業  
金30,000円 …… 柏木町 平 ヒサ子  
金20,000円 …… 匿名 名
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業  
金25,000円 …… 匿名 名
- ★自然との共存・環境保全推進事業  
金20,000円 …… 匿名 名
- ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業  
金20,000円 …… 匿名 名
- ★本のみち・夢プラン事業  
金20,000円 …… 匿名 名  
金10,000円 …… 活込 菅野トシエ

# みんなの健康 302



アメリカ大リーグで大活躍のイチロー選手は、朝一度、練習後のシャワーで一度、家に帰って一度、夕食後一度、晩の練習後一度、歯を磨いているそうです。一流選手と言われる人は、運動能力が歯のかみ合わせに影響されることを知っているようです。そういえばコンスタントに優秀な成績を残している

## イチローは一日五回歯を磨く

めまい、生理痛、乗り物酔い、集中できない、アゴが痛いというような症状を起こすことが多くなります。このような症状を持っている一流の選手にはなれませんか。あなたも是非かみ合わせの診断を受けてみてはいかがでしょうか。

賀陽歯科医院  
院長 賀陽真哉

運動選手はみんな歯が綺麗ですね。イチローだけではなく、タイガー・ウッズや石川遼、中村俊輔など素晴らしい歯並びをしています。ムシ歯になれば「治療すればよい」とお考えではないでしょうか？もちろん治療しなければならぬ場合がありますが、現在の歯科医療には限界があります。治療の結果アゴの動き方が変わって全身に影響を及ぼし、肩凝り、腰痛、頭痛、めまい、生理痛、乗り物酔い、集中できない、アゴが痛いというような症状を起こすことが多くなります。

# 足寄町

## 第20回足寄町吹奏楽フェスティバル

足寄ユニオンアンプラスバンド、足寄中学校吹奏楽部、足寄高校吹奏楽部、足寄吹奏楽団の4団体による演奏会です。

日時 10月11日(日)  
午後2時開演

場所 足寄町民センター  
詳細 足寄町教育委員会生涯学習室生涯学習担当 ☎2513188

# 陸別町

## 第48回陸別町文化祭

陸別町文化祭が10月30日から11月1日の3日間開催されます。展示やバザー、芸能発表会などの催しがあります。ぜひお越しください。

日時 10月30日(金) - 11月1日(日)

文化祭展示：10月30日-11月1日 (タウンホールほか)  
陶芸バザー：10月31日-11月1日 (役場1階ロビー)  
婦人会ボランティアバザー：11月1日(役場2階ホール)  
芸能発表会：11月1日(タウンホール)  
開催時間など詳細 陸別町教育委員会 ☎2712123

# 大収穫祭・秋の物産市

農産物や特産品の製造者、生産者が自ら販売し、足寄の味覚をアピールします。

日時 10月18日(日)  
午前9時

場所 あしよる銀河ホール21前  
詳細 あしよる観光協会 ☎2516131



足寄町・陸別町から

# 広報ほんべつ 第972号

平成21年10月1日発行  
印刷/本別印刷株式会社

## 本のある暮らし

103

# 読書週間のご案内

10月27日から11月9日まで、2009・第63回  
全国読書週間です。

図書館では、読書の楽しさをすべての世代  
に伝える催しを展開します。

多くの方々の来館をお待ちしています。

## お誕生

8月後半から  
9月前半の  
届出分

神野由衣<sup>ゆい</sup> 謙陽<sup>けんやう</sup> 8/19 北6丁目

唯野廉<sup>れん</sup> 虎次郎<sup>こじろう</sup> 8/27 東仙美里

本寺柚月<sup>ゆづき</sup> 久志<sup>ひさし</sup> 9/9 栄町

## おくやみ

濱名文穂<sup>ふみ</sup> 84歳 8/19 美里別東中

菅野昭<sup>あき</sup> 82歳 8/26 活込

餌取数繁<sup>かずしげ</sup> 77歳 8/31 柳町

安東慶二<sup>けいじ</sup> 76歳 9/8 朝日町

伊藤道夫<sup>みちお</sup> 71歳 9/10 北3丁目

河合悦郎<sup>えつろう</sup> 81歳 9/12 北3丁目

## 絵本朗読と講演会

とき/10月31日(土) ところ/図書館視聴覚室

内容/午後1時~午後1時30分 子どもも大人も楽しめる絵本朗読  
(図書館ボランティアぶっくる)

午後2時~午後3時30分 絵本講演会



演題 「絵本から学ぶ~子どもの豊かさを見つめて」

講師 帯広大谷短期大学 田中厚一 教授

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん...子どもを取り巻く皆さんにぜひ聞いていただきたいお話です

講師プロフィール 田中厚一 (たなか こういち)

帯広大谷短期大学総合文化学科教授

【専門】日本近世近代文学

古典から近代、絵本まで、さまざまな文学ジャンルで活躍中

## 資料館企画展『ほんべつ馬文化』連携事業 基調講演会

とき/11月7日(土) 午後1時30分~午後3時 ところ/図書館視聴覚室

演題 「本別と私」 講師 作家 鳴海章 さん

今、もっとも目が離せない作家の一人、鳴海章の小説の原風景は  
幼少時を過ごした本別町にあった...



講師プロフィール 鳴海章 (なるみ しょう)

1958 帯広市生まれ

1963~1965 本別町で過ごす

1991 「ナイト・ダンサー」で江戸川乱歩賞受賞

2006 「鞍馬」が「雪に願うこと」として映画化

月刊「問題小説」2009年2月号に本別の軍馬の

ことを描いた小説「経済動物」を発表。十勝の

馬文化を全国に発信しているベストセラー作家。

帯広市在住

## 展示

※期間中

1階:ファースト・ブックおさそいコーナー

2階:子どもも大人も楽しめる絵本ルーム

紙人形のコーナー・大人が絵本に涙する時コーナー・絵本の力がわが  
子を伸ばすコーナー・子どものための良い絵本コーナー

## わたしたちのまち

前月比

人口 8,586人(+8)

男 4,225人(+3)

女 4,361人(+5)

世帯数 3,952戸(+5)

〔8月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

### 本別町図書館

(愛称:ぶっくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

発行 本別町

編集 企画振興課  
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町  
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121  
(直通)  
FAX 0156-22-3237

ホームページ  
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>



資源を大切に——  
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。